

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場会社名 豊田通商株式会社
 コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 順三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理企画部長 (氏名) 富永 浩史
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 名

TEL 052-584-5482

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,398,451	—	100,064	—	111,081	—	54,328	—
20年3月期第3四半期	5,386,905	18.8	104,104	27.9	113,226	29.3	53,647	△12.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	154.92	154.90
20年3月期第3四半期	152.95	152.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	2,408,829	593,517	22.2	1,528.11
20年3月期	2,603,206	639,730	22.5	1,669.23

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 535,294百万円 20年3月期 585,875百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
21年3月期	—	18.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有
 現時点での期末配当の予想については未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000,000	△14.3	80,000	△39.2	90,000	△37.0	44,000	△34.8	125.61

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	354,056,516株	20年3月期	354,056,516株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	3,758,715株	20年3月期	3,070,690株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	350,682,848株	20年3月期第3四半期	350,763,716株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正に関する詳細は、本日公表の「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、期末配当につきましては、通期の実績を踏まえて開示いたします。

3. 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期第3四半期(3か月)の連結業績

(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(%表示は対前年同四半期増減率)

連結経営成績(3か月)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,509,023	—	24,313	—	24,372	—	8,836	—
20年3月期第3四半期	1,959,941	22.5	35,157	14.4	39,075	22.5	17,715	△ 20.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	25	23	—	—
20年3月期第3四半期	50	52	50	40

(注)平成21年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における経済環境を概観しますと、世界経済は、米国に端を発した金融危機の影響が实体经济にも及び、世界同時不況の様相を呈してきました。これまで高成長を維持してきた新興国や資源国も、欧米向け輸出の減少や資源価格の急落等により、その成長に陰りが見えてきました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第3四半期連結会計期間の売上高は1兆5,090億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では、取引先の生産減等により、また非鉄金属及び鉄鋼原料分野では、主にアルミ・銅・錫・鉄くずの相場下落と需要減少により取り扱いが減少しました。これらの結果、売上高は4,613億円となりました。

機械・エレクトロニクス本部は、機械分野では、主要顧客である自動車産業の設備計画見直しの影響を受け、受注が減少しました。産業車輛分野では、タイに販売子会社を設立し、フォークリフトの販売体制を強化しました。情報・電子分野では、携帯電話事業強化のため、(株)デンソーとの合弁会社設立を決定しました。自動車生産用部品分野では、自動車メーカーの世界的な減産と在庫調整の影響を受け、部品販売が減少しました。これらの結果、売上高は3,453億円となりました。

自動車本部は、南アフリカのスバル車代理店へ出資しました。また、フィンランドにおいてトヨタ車ディーラー事業を譲り受け、販売基盤の拡大に努めました。しかしながら、世界的な自動車販売の低迷により、取り扱いが減少しました。これらの結果、売上高は2,076億円となりました。

エネルギー・化学品本部は、化学品合樹分野では、原油、ナフサなどの価格の大幅下落、自動車・家電材料の需要減少により取り扱いが減少しました。エネルギー・プラント分野では、エジプト・ガス公社と共同で海洋ガス田掘削事業に取り組みました。また、クウェート国政府と太陽熱複合発電事業開発のための事業化調査を開始しました。これらの結果、売上高は2,990億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、産地の多様化を図り、初めてカザフスタンより大麦を輸入しました。食品分野では、より安心・安全な食品を供給することを目指し、引き続き野菜の国内生産事業に取り組みました。これらの結果、売上高は941億円となりました。

生活産業・資材本部は、繊維分野において、(株)レナウンユニフォーム（現 豊通ユニファッション(株)）を完全子会社化し、実用衣料やユニフォーム分野の強化を図りました。これらの結果、売上高は772億円となりました。

利益につきましては、営業利益は243億13百万円、経常利益は243億72百万円となり、税引後の四半期純利益は88億36百万円となりました。

なお、平成21年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月30日開示）及び第2四半期決算短信（平成20年10月30日開示）をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、売上債権・たな卸資産で955億円、投資有価証券で784億円減少し、前連結会計年度末に比べ1,944億円減少の2兆4,088億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金は442億円増加したものの、その他有価証券評価差額金で409億円、為替換算調整勘定で351億円減少し、前連結会計年度末に比べ462億円減少の5,935億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績に加え、金属、機械・エレクトロニクス本部等の取扱減少や前提為替レートの見直しなどにより、平成20年10月30日発表の連結業績予想から変更しております。売上高は前期を1兆3億円（14.3%）下回る6兆円となる見込みです。営業利益は前期を516億円（39.2%）下回る800億円、経常利益は前期を529億円（37.0%）下回る900億円となり、税引後の当期純利益は、前期を235億円（34.8%）下回る440億円となる見込みです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略しております。
法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。</p> <p>②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価基準については、主として原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。 この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,483百万円減少しております。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p> <p>③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。 これにより、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ295百万円減少しております。 なお、セグメント情報に与える影響はありません。</p> <p>④「リース取引に関する会計基準」の適用 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、これによる影響は軽微であります。</p>

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	155,097	174,915
受取手形及び売掛金	964,786	1,108,791
たな卸資産	492,683	444,155
その他	154,120	164,950
貸倒引当金	△6,293	△7,317
流動資産合計	1,760,395	1,885,496
固定資産		
有形固定資産	223,517	202,101
無形固定資産		
のれん	107,148	118,357
その他	14,119	13,321
無形固定資産合計	121,267	131,679
投資その他の資産		
投資有価証券	231,583	309,942
その他	91,655	97,207
貸倒引当金	△19,588	△23,218
投資その他の資産合計	303,649	383,930
固定資産合計	648,434	717,710
資産合計	2,408,829	2,603,206

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,603	906,981
短期借入金	297,354	316,452
未払法人税等	12,463	16,448
引当金	628	803
その他	311,634	238,807
流動負債合計	1,317,683	1,479,494
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	369,768	366,313
引当金	18,964	19,163
その他	33,895	23,504
固定負債合計	497,628	483,981
負債合計	1,815,312	1,963,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,367
利益剰余金	379,194	334,950
自己株式	△6,743	△5,274
株主資本合計	591,755	548,979
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△695	40,362
繰延ヘッジ損益	△10,679	6,519
為替換算調整勘定	△45,085	△9,985
評価・換算差額等合計	△56,460	36,896
新株予約権	966	581
少数株主持分	57,255	53,273
純資産合計	593,517	639,730
負債純資産合計	2,408,829	2,603,206

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	5,398,451
売上原価	5,114,944
売上総利益	283,507
販売費及び一般管理費	183,442
営業利益	100,064
営業外収益	
受取利息	3,604
受取配当金	12,321
持分法による投資利益	7,619
雑収入	7,178
営業外収益合計	30,724
営業外費用	
支払利息	13,705
雑支出	6,002
営業外費用合計	19,707
経常利益	111,081
特別利益	
固定資産売却益	1,083
投資有価証券及び出資金売却益	1,312
貸倒引当金戻入額	2,718
その他	0
特別利益合計	5,114
特別損失	
固定資産処分損	1,490
減損損失	1,118
投資有価証券及び出資金売却損	59
投資有価証券及び出資金評価損	4,894
関係会社整理損	28
事業撤退損失引当金繰入額	471
その他	110
特別損失合計	8,173
税金等調整前四半期純利益	108,021
法人税等	45,733
少数株主利益	7,959
四半期純利益	54,328

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,509,023
売上原価	1,425,768
売上総利益	83,255
販売費及び一般管理費	58,942
営業利益	24,313
営業外収益	
受取利息	1,048
受取配当金	2,950
持分法による投資利益	1,129
雑収入	1,616
営業外収益合計	6,745
営業外費用	
支払利息	4,535
雑支出	2,150
営業外費用合計	6,685
経常利益	24,372
特別利益	
固定資産売却益	264
投資有価証券及び出資金売却益	1,098
貸倒引当金戻入額	326
その他	0
特別利益合計	1,689
特別損失	
固定資産処分損	323
減損損失	522
投資有価証券及び出資金売却損	51
投資有価証券及び出資金評価損	3,753
その他	48
特別損失合計	4,700
税金等調整前四半期純利益	21,361
法人税等	10,630
少数株主利益	1,894
四半期純利益	8,836

第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	1,697,629	1,133,119	711,868	1,220,725	293,436	249,980	91,691	5,398,451	—	5,398,451
(2) セグメント間の 内部売上高	326	6,963	38	1,587	99	1,473	3,101	13,589	(13,589)	—
計	1,697,956	1,140,083	711,907	1,222,313	293,535	251,453	94,793	5,412,041	(13,589)	5,398,451
営業利益	24,737	20,293	35,305	10,128	4,660	4,529	418	100,074	(9)	100,064

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、商品の種類・性質により区分しております。

2. 「4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益は金属事業で1,214百万円、機械・エレクトロニクス事業で691百万円、エネルギー・化学品事業で341百万円、食料事業で204百万円、生活産業・資材事業で30百万円それぞれ減少しております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	461,377	345,350	207,603	299,073	94,101	77,228	24,290	1,509,023	—	1,509,023
(2) セグメント間の 内部売上高	103	2,263	29	456	36	390	1,741	5,021	(5,021)	—
計	461,480	347,613	207,632	299,529	94,138	77,618	26,031	1,514,045	(5,021)	1,509,023
営業利益又は損失(△)	1,905	5,223	11,401	3,659	1,092	1,250	△219	24,313	—	24,313

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,576,034	945,175	391,408	339,384	146,448	5,398,451	—	5,398,451
(2) セグメント間の 内部売上高	482,803	100,487	105,815	9,091	3,604	701,802	(701,802)	—
計	4,058,838	1,045,662	497,223	348,476	150,053	6,100,254	(701,802)	5,398,451
営業利益	32,101	30,732	8,630	11,845	16,249	99,559	504	100,064

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア：中国・台湾・シンガポール・タイ

(2) 北米：米国

(3) 欧州：英国・ベルギー・ロシア

(4) その他の地域：アフリカ・中南米

3. 「4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が2,483百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,013,367	249,312	98,880	101,975	45,488	1,509,023	—	1,509,023
(2) セグメント間の 内部売上高	146,195	26,885	28,040	1,737	1,136	203,995	(203,995)	—
計	1,159,562	276,198	126,921	103,712	46,625	1,713,019	(203,995)	1,509,023
営業利益又は損失(△)	6,102	9,794	△66	3,434	5,055	24,320	(7)	24,313

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、11,928百万円の剰余金の配当を行っております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間及び第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで)	前第3四半期連結会計期間 (平成19年10月1日から 平成19年12月31日まで)
売上高	5,386,905	1,959,941
売上原価	5,102,282	1,862,363
売上総利益	284,623	97,577
販売費及び一般管理費	180,519	62,420
営業利益	104,104	35,157
営業外収益		
受取利息	4,890	1,736
受取配当金	9,428	3,288
持分法による投資利益	9,058	3,025
その他の営業外収益	6,319	2,738
	29,697	10,789
営業外費用		
支払利息	15,468	5,155
その他の営業外費用	5,106	1,715
	20,574	6,871
経常利益	113,226	39,075
特別利益	5,126	607
特別損失	5,206	2,182
税金等調整前四半期純利益	113,147	37,500
法人税等	51,659	17,097
少数株主利益	7,839	2,687
四半期純利益	53,647	17,715

(2)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	金属	機械・ エレクトロニクス	自動車	エネルギー ・化学品	食料	生活産業・ 資材	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	1,601,950	1,235,680	740,399	1,180,624	260,678	289,949	77,622	5,386,905	-	5,386,905
(2)セグメント間の内部売上高	277	4,682	48	2,017	52	1,666	5,920	14,666	(14,666)	-
計	1,602,228	1,240,363	740,447	1,182,641	260,731	291,616	83,542	5,401,572	(14,666)	5,386,905
営業利益又は損失(△)	28,778	26,767	35,439	4,299	3,341	6,155	△644	104,137	(33)	104,104

(注) 事業区分は、商品の種類・性質により区分しております。

前第3四半期連結会計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	金属	機械・ エレクトロニクス	自動車	エネルギー ・化学品	食料	生活産業・ 資材	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	557,250	434,189	252,707	497,931	90,057	100,104	27,699	1,959,941	-	1,959,941
(2)セグメント間の内部売上高	118	1,749	1	613	20	657	2,060	5,221	(5,221)	-
計	557,369	435,939	252,708	498,545	90,077	100,762	29,759	1,965,162	(5,221)	1,959,941
営業利益又は損失(△)	9,438	9,286	11,145	1,961	1,289	2,120	△85	35,157	0	35,157

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・ オセアニア	北米	欧州	その他の 地域	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	3,565,944	886,695	427,333	383,083	123,848	5,386,905	-	5,386,905
(2)セグメント間の内部売上高	466,367	98,644	84,363	9,557	3,414	662,347	(662,347)	-
計	4,032,312	985,339	511,697	392,640	127,262	6,049,253	(662,347)	5,386,905
営業利益	39,771	22,059	10,629	16,602	15,200	104,263	(158)	104,104

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジ ア ・ オ セ ア ニ ア … 中国・台湾・シンガポール・タイ
- (2) 北 米 … 米国
- (3) 欧 州 … 英国・ベルギー・ロシア
- (4) そ の 他 の 地 域 … アフリカ・中南米

前第3四半期連結会計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・ オセアニア	北米	欧州	その他の 地域	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,316,838	327,013	149,286	123,460	43,342	1,959,941	-	1,959,941
(2)セグメント間の内部売上高	158,556	34,857	36,710	3,453	905	234,482	(234,482)	-
計	1,475,394	361,870	185,996	126,913	44,247	2,194,423	(234,482)	1,959,941
営業利益	14,469	7,613	3,499	4,537	5,036	35,157	0	35,157

2009年3月期第3四半期連結決算概要

2009年2月3日
豊田通商株式会社

1. 第3四半期連結経営成績

第3四半期連結累計期間(4~12月)実績 (億円)					
項目	当第3四半期 連結累計期間	前年同期	対前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	53,984	53,869	115	0%	
営業利益	1,000	1,041	▲41	▲4%	
経常利益	1,110	1,132	▲22	▲2%	
当期純利益	543	536	7	1%	

※当第3四半期は「四半期連結財務諸表規則」に基づいて作成しております。(以下当資料内において同様)

(参考)第3四半期連結会計期間(10~12月)実績 (億円)					
項目	当第3四半期 連結会計期間	前年同期	対前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	15,090	19,599	▲4,509	▲23%	
営業利益	243	351	▲108	▲31%	
経常利益	243	390	▲147	▲38%	
当期純利益	88	177	▲89	▲50%	

◆連結損益計算書: 当第3四半期連結累計期間(4~12月)実績のポイント(対前年同期比増減の主な要因)

- 売上高(+115億円)
金属、エネルギー・化学品本部を中心に増加
- 経常利益(▲22億円)
営業利益の減少(▲41億円)
金属、機械・エレクトロニクス本部を中心に減少
受取配当金の増加(+29億円)
- 当期純利益(+7億円)
経常利益が減少及び特別損失が増加するも、税負担の減少により増加

2. 第3四半期末連結財政状態

第3四半期末連結財政状態 (億円)				
項目	当第3四半期末	前期末	対前期末比	
			増減額	増減率
総資産	24,088	26,032	▲1,944	▲7%
純資産	5,935	6,397	▲462	▲7%
ネット有利子負債 ※1	6,775	6,002	773	13%
Debt Equity Ratio (倍) ※2	1.3	1.0	0.3	

項目	当第3四半期末	前期末	増減
連結子会社	275	255	20
持分法適用会社	138	123	15

※1 当第3四半期末の「ネット有利子負債」には「リース債務」を含めております。
 ※2 Debt Equity Ratio(倍)の計算: 「ネット有利子負債」÷「純資産-少数株主持分-新株予約権」

◆連結貸借対照表のポイント(対前期末比増減の主な要因)

- 総資産(▲1,944億円)
・売上債権・たな卸資産 ▲955億円(当四半期売上高の減少による)
・投資有価証券 ▲784億円(時価評価等による減少)
- 純資産(▲462億円)
・利益剰余金 +442億円(第3四半期連結累計期間純利益 543億円、配当金▲119億円等)
・その他有価証券評価差額金 ▲409億円
・為替換算調整勘定 ▲351億円

3. 商品本部別連結売上高・営業利益

第3四半期連結累計期間(4~12月)実績 (億円)								
商品本部	連結売上高				連結営業利益			
	当第3四半期 連結累計期間	前年同期	対前年同期比		当第3四半期 連結累計期間	前年同期	対前年同期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
金属	16,976	16,019	957	6%	247	287	▲40	▲14%
機械・エレクトロニクス	11,331	12,356	▲1,025	▲8%	202	267	▲65	▲24%
自動車	7,118	7,403	▲285	▲4%	353	354	▲1	▲0%
エネルギー・化学品	12,207	11,806	401	3%	101	42	59	136%
食料	2,934	2,606	328	13%	46	33	13	39%
生活産業・資材	2,499	2,899	▲400	▲14%	45	61	▲16	▲26%
その他の他	916	776	140	18%	4	▲6	10	-
合計	53,984	53,869	115	0%	1,000	1,041	▲41	▲4%

(参考)第3四半期連結会計期間(10~12月)実績 (億円)

商品本部	連結売上高				連結営業利益			
	当第3四半期 連結会計期間	前年同期	対前年同期比		当第3四半期 連結会計期間	前年同期	対前年同期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
金属	4,613	5,572	▲959	▲17%	19	94	▲75	▲80%
機械・エレクトロニクス	3,453	4,341	▲888	▲20%	52	92	▲40	▲44%
自動車	2,076	2,527	▲451	▲18%	114	111	3	2%
エネルギー・化学品	2,990	4,979	▲1,989	▲40%	36	19	17	87%
食料	941	900	41	4%	10	12	▲2	▲15%
生活産業・資材	772	1,001	▲229	▲23%	12	21	▲9	▲41%
その他の他	242	276	▲34	▲12%	▲2	▲0	▲2	-
合計	15,090	19,599	▲4,509	▲23%	243	351	▲108	▲31%

◆当第3四半期連結累計期間(4~12月)実績の商品本部別業績概況(対前年同期比)
 ※以下の前年同期対比は為替換算影響を除いて表示しております。

売上高	概況
金属 (+1,571億円,+10%)	市況の上昇及び需要増加による取扱い伸長
機械・エレクトロニクス (▲216億円,▲2%)	需要の減少に伴う取扱い減少による
自動車 (+386億円,+6%)	海外自動車販売会社の取扱い伸長
エネルギー・化学品 (+887億円,+8%)	原油等の市況の上昇による
食料 (+446億円,+18%)	市況の上昇による
生活産業・資材 (▲315億円,▲11%)	需要の減少に伴う取扱い減少による

営業利益	概況
金属 (▲22億円,▲8%)	自動車生産台数減少に伴う取扱い減少による
機械・エレクトロニクス (▲50億円,▲20%)	売上高減少による
自動車 (+42億円,+14%)	売上高伸長による
エネルギー・化学品 (+60億円,+149%)	豪州石炭プロジェクトの利益の増加による
食料 (+13億円,+42%)	売上高伸長による
生活産業・資材 (▲14億円,▲25%)	売上高減少による

4. 当期(2009年3月期)連結業績予想

当期業績予想 (億円)					(参考)
項目	当期予想	前期実績	対前期比		直近の業績予想 (10月30日公表時)
			増減額	増減率	
売上高	60,000	70,003	▲10,003	▲14%	78,000
営業利益	800	1,316	▲516	▲39%	1,500
経常利益	900	1,429	▲529	▲37%	1,560
当期純利益	440	675	▲235	▲35%	740